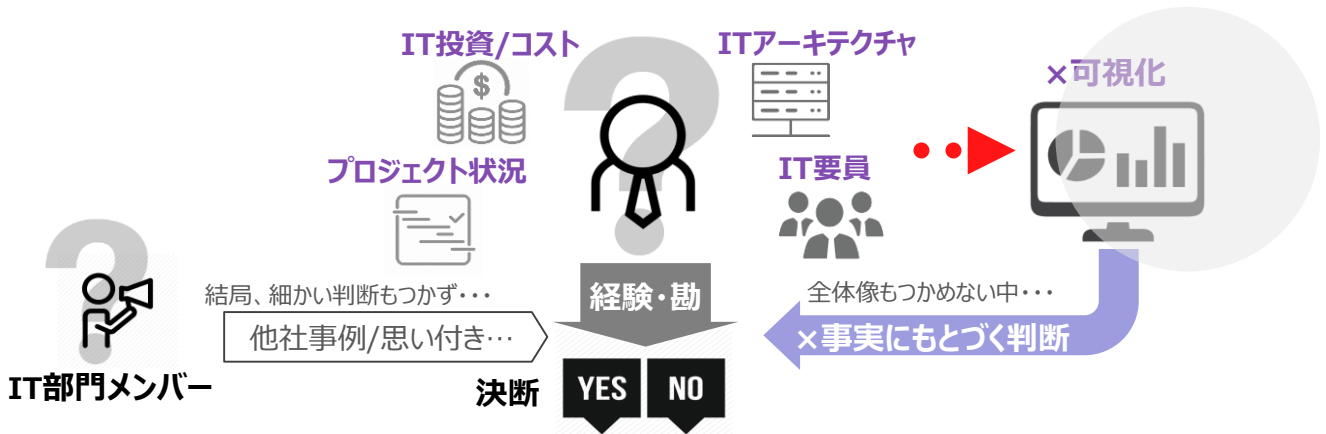


ファクトにもとづき意思決定を支援する CIOコックピット

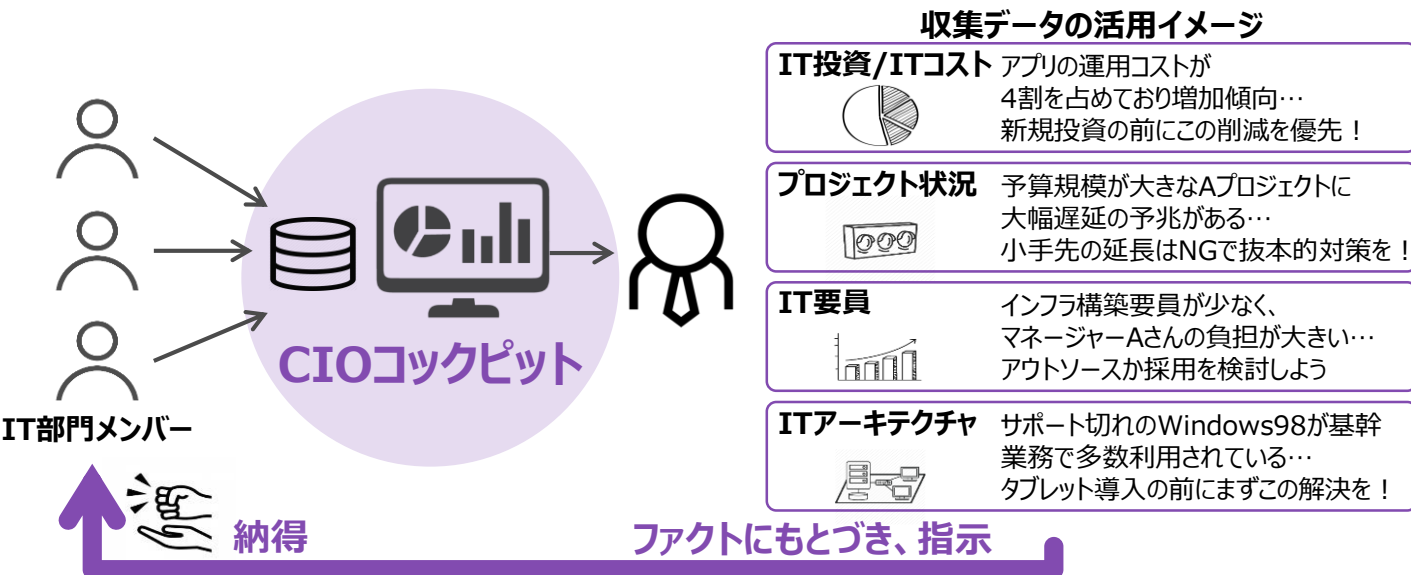
適切な指示出しや有効な判断につながる情報を集められていない

IT化への期待が高い現在のビジネス状況において、CIOやIT部門責任者は、自社やグループ・グローバルでのIT環境・状態を把握し、スピードも考慮したかたちでの対応が求められています。特に赴任後のマネジメント層は、自社のIT環境がどのようになっているのか理解が薄い状況下で、IT投資等に関する決断が求められ、経験や勘に頼らざるを得ないケースが多く発生していると認識しております。また、多くの企業がIT環境に関する情報収集を実施していますが、一過性であったり、ライセンスや資産管理のために集めているだけであったりと、マネジメント層の意思決定を支援しうる有効な情報収集が行われていない状況が散見されます。これらの状況に対しQUNIEは、自社のITに関する状況を**迅速かつ継続的に収集するだけでなく、効果的な意思決定につながる可視化**を合わせて実施することが肝要と考えます。



コックピット化により真に検討すべき課題を可視化し、ファクトにもとづいた意思決定を促す

全社のITコストの内訳や要員配置状況、プロジェクト進捗などの情報を**目的を持って効率的に収集し、可視化した上での分析を可能とする**ことで、他社事例や思い付きに頼らず真に検討しなければならない課題を明らかにします。また、収集したファクトデータをもとにマネジメントが自ら判断し、指示を行うことで、各指示に対するIT部門メンバーの納得度を高めることにもつながります。その結果、企画・実行・評価段階においても、方向性やターゲットを間違えずに、期待する成果を生み出すことが可能となります。



自社の状況に合わせ、具体性のあるユースケースの検討を軸とした推進

情報収集と可視化においては、まず、**具体性のあるユースケースの設定**が最重要であると考えています。この議論を深め、自社の状況に合わせ現実に即したコックピットを設計することこそが、情報の収集負荷の抑制と迅速な導入を可能にするとともに、明確なユースケースに即した次のアクションへとつながります。

【ユースケース例①：IT投資】

事業およびバリューチェーン機能別にIT投資額を分類し、各事業の売上規模および伸長率と横並びで比較する。これにより、間接的に各事業の重点施策(営業力強化など)にIT投資が振り向けられているのかを検証可能とする。

A事業領域では順調な成長に追隨して売上拡大を目的としたIT投資を積極的に行い、市場でのシェア拡大を目指すことが望ましいのでは？

<可視化イメージ①>

事業領域	バリューチェーン							IT投資額	事業予算		IT投資/売上高
	研究開発	販売	製造	物流	会計	人事	調達		売上	成長率	
Aセグメント									XXXX	22%	1.9%
①事業									XXXX	18%	1.9%
②事業									XXXX	29%	2.7%
③事業									XXXX	5%	0.7%
④事業									XXXX	9%	1.1%
Bセグメント									XXXX	3%	1.4%
⑤事業									XXXX	-2.1%	1.0%
⑦事業									XXXX	-0.5%	0.8%
⑧事業									XXXX	1%	1.2%
共通									-	-	-
Total	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	6.2%	2.1%

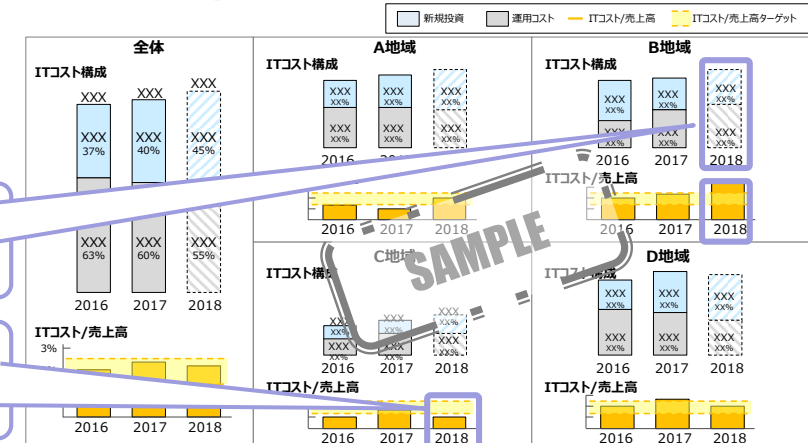
【ユースケース例②：ITコスト】

新規投資とランニングコストの比率と、売上高・ITコスト比率の推移をもとに、地域ごとの投資傾向を把握し、バランスのとれたIT投資を要請可能にする。

ランニングコストが増加し新規投資割合が低下(売上高・ITコスト比率もターゲット外)しているため、ランニングコスト削減に向けた投資を行うべきでは？

新規投資とランニングコストの割合は妥当だが、売上高に対する新規IT投資の比率がターゲットを下回っている。IT投資を積極的に行う余地はないか？

<可視化イメージ②>



Why QUNIE ?

QUNIEでは、これまでさまざまな角度・視点・立場から多くのIT部門支援を行ってきております。これらの豊富な実績にもとづき、貴社の立場からともに検討を行うアプローチを採ることで、実現性の高い方法を提言いたします。

次の一手につながる
ユースケースの導出

QUNIEでは、いわゆるベストプラクティスだけでなく、さまざまな支援実績にもとづくアクションベースでの検討を最重要視しております。状況に応じたユースケースの議論をもとにするすることで、CIOやマネジメント層には、自社のIT環境の理解を深めるのみならず、今後のプロアクティブな活動を促進します。

無駄のない情報収集、
実判断に使えるビジュアライズ

本取り組みは、CIOの目線に立っての判断に役立つ可視化、現場の立場・負荷を考えての情報収集の効率化の2つのバランスが必要と考えています。QUNIEでは、CIOサポートだけでなく、IT部門の様々な業務支援実績もあり、このバランスを保ちながらの効果的な推進を図ります。